

2012 年の我が国のクルーズ等の動向について

2012 年（1 月～12 月）の我が国のクルーズ等の動向に関するアンケート調査の集計結果をお知らせします。本調査は 1986 年以降、関係者¹からご協力を頂き、毎年実施しています。

1. 2012 年の我が国のクルーズ人口について（図表 1 参照）

◎ 2012 年の我が国のクルーズ人口²は、外航クルーズ利用者 12 万人、国内クルーズ利用者 9.6 万人の合計 21.7 万人（前年比 16.2%増）となりました。

2. 外航クルーズの動向について（図表 1～図表 4 参照）

◎ 日本船社運航の外航クルーズ船利用者は 1.9 万人と前年比 19.1%増加、外国船社運航のクルーズ船利用者は 10.1 万人と前年比 15.6%増加、合計では 12 万人（前年比 16.1%増、同 1.7 万人増）となりました。

◎ クルーズの目的別では、レジャー目的が 96.5%で前年に引き続き 90%を超え、セミナー及び交流目的による利用は増加、インセンティブ及び団体旅行目的による利用は減少となりました。

◎ クルーズの長さを示す泊数別では、1泊～4泊のショートクルーズ利用客が全体の 35.3%、5泊～13泊のクルーズが全体の 56.4%、14泊以上のクルーズが全体の 8.2%、全体の人泊数は 112 万人・泊となりました。昨年と比べ、カテゴリ－4（5～7泊）の増加が目立っています。平均泊数は 9.3泊と前年（8.3泊）より 1泊増加となりました。

◎ クルーズの方面別では、欧州地域全体で 39.6%（4.7万人、うちバルト海 2.7万人、地中海 1.7万人）、極東ロシアを含むアジア地域で 36.8%（4.4万人）の順となりました。近年、特に、地中海・アラスカ・カリブ海の 3大クルーズエリア、北欧・バルト海、アジアは堅調に推移しています。

3. 国内クルーズの動向について（図表 1、図表 5～図表 7 参照）

◎ 日本船社外航クルーズ船による国内クルーズ利用者は 9.4 万人、内航フェリー利用のクルーズ利用者は 0.3 万人の合計 9.7 万人（前年比 16.3%増、同 1.4 万人増）となりました。

◎ 目的別では、レジャー目的が 93.8%を占め、このうちワンナイト、インセンティブ、セミナー及び団体旅行目的による利用は増加、交流目的による利用は減少となりました。

◎ 泊数別では、1泊～4泊のショートクルーズ利用客が全体の 80.4%を占めました。昨年と比べ、カテゴリ－4（5～7泊）の増加が目立っています。人泊数については、28.2 万人・泊、平均泊数は 2.9泊で、人・泊、平均泊数とも前年（22.2 万人・泊、2.7泊）より増加となりました。

4. 外航旅客定期航路の動向について（図表 8 及び資料 3 参照）

◎ 日本発着の外航旅客定期航路を利用した日本人乗客数は、34.7 万人と前年比 1.6%の増加となりました。

¹ 我が国クルーズ船社、外航クルーズ船社代理店、クルーズを含む海外旅行を取り扱う旅行会社及び国内旅客船事業者を対象（88社にアンケートを依頼）とした。

² 外航クルーズと国内クルーズを合計した日本人乗客数。本調査では、船内 1泊以上を対象とし、日帰りクルーズは対象外とした。国内クルーズは、日本船社の運航する外航クルーズ船による国内クルーズの乗客数及び内航フェリーによるクルーズの乗客数を合計した。